

平泉世界遺産ガイドンスセンターの概要

1 施設の理念（目指す姿）

世界遺産「平泉」の価値を広く世界中に伝え、人類の共通の財産として後世へ継承するための拠点となり、「平泉の文化遺産」等の周遊の出発点として、「平泉」並びに一関市、奥州市及び平泉町に広がる関連遺跡を訪問する契機を提供する施設

2 沿革

令和3年11月 開館（20日）
 令和4年5月 来館者1万人達成（19日）
 令和5年2月 来館者3万人達成（4日）
令和5年4月 指定管理者制度・利用料金制度導入
 令和5年8月 来館者4万人達成（25日）

3 開館時間

9：00～17：00（11月～3月 9：00～16：30） 最終入館は各閉館時間の30分前まで

4 休館日

毎月月末（土曜・日曜の場合は前日）、年末年始、資料整理日

5 入館料（令和5年度～）

項目	個人	20人以上の団体
一般	310円	140円/人
学生	140円	70円/人
高校生以下	無料	

6 入館者数の推移

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
個人	6,038人	21,850人	12,797人	40,685人
団体	619人	3,497人	3,350人	7,466人
合計	6,657人	25,347人	16,147人	48,151人

7 ガイドンスセンター実施事業

(1) 企画展等

No.	内容	期間
1	開館記念企画展 「奥州藤原氏が観た東方浄瑠璃世界 — 赤沢七仏薬師 —」	令和3年11月20日～ 令和4年2月13日
2	テーマ展 「平泉・橋野・御所野 — 岩手県内の3つの世界遺産 —」	令和4年3月26日～ 5月29日

3	企画展 「遠野と平泉～新発見！平泉時代の遺跡を探る」	令和4年7月2日～ 9月11日
4	開館一周年記念企画展 「石のほとけ — 平泉の仏教石造物 —」	令和4年10月15日～ 12月25日
5	企画展 「江戸時代の平泉 — 芭蕉が見た光景 —」	令和5年4月22日～ 8月27日
6	企画展 「衣川の薬師如来 — 上寺田薬師神社 —」	令和5年11月3日～ 令和6年3月3日
7	中尊寺金色堂建立900年記念企画展 「清衡の平泉 — 伊豆山神社の紺紙金銀字交書経 —」 (こんしきんぎんじこうしよきょう)	令和6年4月13日～ 8月25日

(2) 講座等

項目	回数	参加者数	内容 (テーマ)
令和3年度	5回	61人	・奥州藤原氏と早池峰信仰 ・平泉の館と金鶏山 他
令和4年度	14回	291人	・三陸の12世紀 ・平泉時代の遠野 ・石の仏像 他
令和5年度	5回	338人	・衣川の民間信仰 ・前九年・後三年合戦と衣川 ・霧山洞窟探検記 他
令和6年度			・経蔵別当補任状と骨寺村 ・伊豆山神社の考古学 ・一切経入門 ・骨寺村荘園遺跡出土の鉄磬 他

(3) 体験教室

項目	回数	参加者数	内容
令和3年度	2回	34人	かわらけをつくろう！かわらけに絵をかこう！ 他
令和4年度	12回	203人	延年の舞のペーパークラフト、おきなのお面づくり 他
令和5年度	12回	360人	平泉関連遺跡出土和鏡の缶バッジを作ろう！ 他
令和6年度			① 紺紙金銀字交書経の写経 企画展に併せ、写経体験を実施 材料費 1,000円 (100セット) ② 平泉文化を学ぶ缶バッジ作成 平泉文化に係る図柄の缶バッジ作成 図柄は、紺紙金銀字交書経などにみられる見返絵 をモチーフにしたものとする。 材料費 200円 (300セット)

〔施設の概要〕

- ・設置場所 岩手県柳之御所史跡公園内（平泉町平泉字伽羅楽）
- ・建築面積 2,681.76㎡
- ・延床面積 2,424.74㎡
- ・展示面積 常設展示室：約440㎡ 企画展示室：約110㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造、地上2階建（耐火構造施設）
- ・駐車可能台数 普通車47台（うち障がい者用2台）、大型車2台
- ・展示資料点数 常設約300点（パネル・映像等を含む、うち重要文化財約150点）

〔組織体制〕

名誉館長 近藤 誠一 氏

館長 菅野 洋樹 氏

〔運営〕

指定管理者 公益財団法人岩手県文化振興事業団
センター長 八重樫 忠郎 氏

